



今年度は認知症を予防するために「認知症についての知識」、「認知症の治療とケア」、「認知症の予防」について、順を追って掲載していきます。

今月から「認知症の治療とケア」について紹介します。

認知症が疑われるサインに気づいたら専門医（精神科、精神内科、診療内科）へ相談してください。



おたっしや本舗

今月の福祉

多久市地域包括支援センター
(多久市役所 福祉課内)

☎75-6033

認知症ストップ作戦

No.6

認知症が疑われたら



「認知症かも」と思ったらどこに相談したらいい?

認知症が疑われるサインに気づいたら、早めに医療機関を受診しましょう。まずは、信頼できるかかりつけ医に相談してみるといいでしょう。



まずご相談ください。

生活の中で「困ったなあ」「どうしよう」と思うことがあったら、から応援する総合相談機関です。

して暮らせるように、あらゆる面

なさんが、いつまでも元気で安心

たっしや本舗(多久)は高齢者のみ

多久市地域包括支援センター(お

福祉課の窓口やかかりつけ医の利用も

自分が認知症かもしれないという不安はとても大きなものです。周囲がすすめても本人が受診を嫌がるという場合もあるでしょう。そのような時は、家族だけで地域包括支援センター(福祉課内)に相談することもできます。

また、専門医である精神科、神経内科、診療内科ではなく、まずは、かかりつけ医に相談してみるという方法もあります。かかりつけ医では必要に応じて、適切な病院なども紹介してもらえます。問診で症状を正確に伝えるためにも、家族が付き添って受診しましょう。



県民公開講座 ～みんなで知ろう認知症～

日時 9月15日(土)
13時30分～15時35分(開場12時30分)
場所 アバンセ

- ◆ 認知症の基礎知識 講師 薬師寺祐介(佐賀大学・神経内科)
- ◆ 認知症の治療薬について 講師 雪竹基弘(佐賀大学・神経内科)
- ◆ 知っ得劇場 「あれ! ?これって認知症?」 多久市地域包括支援センター
- ◆ 認知症とうつ、その他の精神症状について 講師 溝口義人(佐賀大学・精神神経科)
- 問い合わせ 佐賀大学医学部附属病院 認知症疾患医療センター ☎34-3838

認知症が疑われるサイン

個人差もありますが、思い当たることが多ければ、一度相談してみましょう。



- 直前にしたことや話したことを忘れてしまうようになった。
- 同じことを何度も言ったり、聞いたり、したりするようになった。
- 置き忘れやしまい忘れが増えて、いつも探し物をしている。
- 知っているはずの人やものの名前が出てこなくなった。
- つじつまの合わない作り話をするようになった。
- 以前にくらべ、ささいなことで怒りっぽくなった。
- おしゃれや清潔感など身だしなみに気を使わなくなった。
- 今まで好きだった趣味などへの興味や関心がなくなった。
- 外出したり、人と会ったりするのをおっくうがり嫌がるようになった。
- 今までできていた家事や、計算、運転などのミスが多くなった。
- 日付や時間を間違えたり、慣れた道で迷ったりするようになった。
- 財布が見当たらないときなど、盗まれたと人を疑うようになった。